

## 矢作川圏域大規模氾濫減災総合協議会の開催概要

日時：令和6年5月13日（月）10：00～12：00

場所：愛知県西三河総合庁舎 10 階大会議室

（対面および Web 形式によるハイブリッド開催）

### 1. 【気象概況】＜名古屋地方気象台＞

- 1) 2023年1月～12月の気象概況（東海地方）
- 2) 2023年（令和5年）出水時の気象概況（矢作川）
- 3) 県単位での線状降水帯半日前予測

（主な内容）

- ・令和5年度の気象概要、同年6月出水時の気象概要、及び線状降水帯による大雨の県単位での呼びかけ開始について説明した。

### 2. 矢作川水防災協議会の議事内容

- 1) 新たな取組について
  - ・矢作川水系流域治水プロジェクト 2.0
- 2) 矢作川水防災協議会について
  - ①矢作川の減災に係る取組状況
  - ②矢作川水防災協議会フォローアップ
  - ③防災教育の展開について
  - ④流域タイムラインについて

（主な内容）

- ・令和5年度に実施してきた取組内容について代表機関より説明した。
- ・令和6年度で取組む内容の実施状況について代表機関より説明した。

（主な発言）

- ・幸田町では、広田川及び広田川支川の流域雨量指数の変更に伴い、令和5年6月に「避難情報の判断・伝達マニュアル」の改定を行った。昨年の大雨の際には、本マニュアルをもとに避難情報の発令等を行った。
- ・豊田市では、平成25年に締結した西三河災害時相互応援協定に基づき、各市町の災害時の相互応援を目的とした体制を構築している。平常時から顔の見える関係を構築するために、西三河防災減災連携研究会を開催し、年間を通して西三河の防災課題について検討を行っている。昨年は、幸田町を幹事として協定締結10年の節目でシンポジウムを行い、研究会での取組について、改めて共有した。

- ・刈谷市では、個人や家庭での災害への備えを啓発する講演会の開催により、平成 23 年度から防災教育の推進を図っている。昨年度は、講師のあんどーりす様の阪神大震災の被災体験をもとに、アウトドアの知識を活かした防災対策についての講演を開催した。対面開催に加え、アーカイブ配信の開始により講演申込者数が増加した。
- ・碧南市では、令和 5 年度に市内 2 中学校、4 小学校で教職員を対象に学校防災対策講習会を行った。防災課職員を講師として各学校における防災対策等について講義を行い、洪水・高潮の学区ごとの浸水想定や南海トラフ地震の被害想定、及び教師としての準備事項や学区ごとに懸念されるリスクについて説明した。講習会については、令和 4 年度から 2 年間で市内全小中学校に講習を行った。昨年度は特に 6 月 2 日の大雨もあったことから、教師の関心も高く見受けられた。
- ・岡崎市では、公共施設や災害拠点病院の機能確保対策として、施設管理者へ矢作川の氾濫における被害想定の情報共有を行った。矢作川の想定最大規模氾濫を想定して災害シナリオを作成し、全庁に共有した。各部署にとるべき行動をタイムテーブルとしてとりまとめた。令和 6 年度は、矢作川の氾濫を想定した業務継続計画の作成を予定している。
- ・西尾市では、防災情報伝達ツールとして防災行政無線、防災ラジオ、防災アプリ、メール、LINE 等を活用し、広く市民に対して防災情報を発信し、迅速な情報伝達に努めている。西尾市公式 LINE アカウントは登録者が約 10 万 7000 人と、人口 17 万人に対し 60%を超えており、市民の安全と災害対策に大きな役割を果たす有効な手段となっている。昨年 9 月より開始した LINE 通報システムでは、道路損傷等情報を市民から通報することで、災害時の緊急時にも活用可能と考えている。
- ・高浜市では、登録制の防災メール、公式ホームページ、公式 LINE 等で避難所の開設情報を周知している。昨年 6 月の台風 2 号の際にもメール配信を行っており、引き続き来年度も実施していく。
- ・知立市では、消防団の加入促進用啓発品について、毎年手ぬぐい、タオル等に消防団のプリントをして、防災訓練・水防訓練等の各種イベントで配布している。

### 3. 矢作川洪水予報連絡会の議事内容

- 1) 令和 5 年度事業報告及び、令和 6 年度事業計画（案）について
- 2) 矢作川令和 5 年 6 月出水予警報の発令状況について

#### （主な内容）

- ・洪水予報連絡会の令和 5 年度事業報告、令和 6 年度事業計画（案）を説明するとともに、令和 5 年 6 月出水時の洪水予報の発表状況を説明した。
- ・陸上自衛隊の組織改正に伴う規約改正について説明し、了承を得た。

#### 4. 矢作川水防連絡会の議事内容

- 1) 水防活動の「見える化」について
- 2) R 6「水防月間」の実施（毎年 5 月）について
- 3) 早めの避難により被害を免れた事例について
- 4) 能登半島地震で避難訓練が効果を発揮した事例について
- 5) ワンコイン浸水センサについて
- 6) 令和 5 年度事業報告及び、令和 6 年度事業計画（案）について

##### （主な内容）

- ・水防に関する取組として、水防活動の見える化、令和 6 年度水防月間、避難により被害を免れた事例等について話題提供を行った。
- ・ワンコイン浸水センサの参加自治体、実証実験等について説明した。
- ・水防連絡会の令和 5 年度事業報告、令和 5 年度事業計画（案）を説明するとともに、令和 5 年 6 月出水時の水防警報の発令状況を説明した。

以上